

製品名: ABI2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84597**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 56 kDa ; Observed MW: 75 kDa

抗原情報

遺伝子名	ABI2
別名	Abelson interactor 2; ABI2; ABI2B; Abl binding protein 3; AblBP3; ArgBP1; ARGBPIA; ArgBP1B; SSH3BP2;;ABI2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9NYB9
免疫原	ヒト ABI2 由来の合成ペプチド

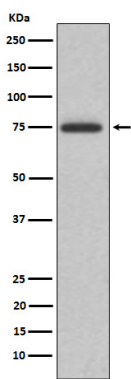
背景

細胞の運動性と接着の基盤となるアクチン細胞骨格の動態を制御する因子。アクチン核形成機構 Arp2/3 を活性化し、ラメリポディアの形成を促進する WAVE 複合体の構成要素として機能。細胞増殖および分化に関連するプロセスに関与する非受容体型チロシンキナーゼ ABL1 および ABL2 の調節因子および基質として作用する。先端における核形成アクチンフィラメントの適切な重合に必要な、ABL1 を介した ENAH のリン酸化を正に制御する。

研究分野

-

画像データ



K562 細胞溶解物中の ABL2 発現のウェスタンブロット解析。